

普及だより

令和3年6月 Vol.

111

# くにみ

発行：伊万里農林事務所

西松浦農業改良普及センター

TEL(0955)23-5128 FAX(0955)23-5138

nishimatsuurafukyuu@pref.saga.lg.jp

## NEWS TOPICS



4Hクラブ会長のあいさつ

伊万里地区4Hクラブ  
連絡協議会通常総会開催

若い力で伊万里・有田地区の  
農業を盛り上げる！

伊万里地区4Hクラブでは、令和2年度から6名の新規会員を迎え、20代〜30代の若手15名で活動をしています。今年度からは県連4Hクラブに復帰し、更なる成長を求めて活動中です。

令和3年4月21日には、新型コロナウイルスの感染対策を行いながら、通常総会を開催しました。来賓として出席された前田農業士からは、「自分も昔は4Hクラブに加入していたが、当時の仲間とは、県境を越えてもいまだに交流がある。県連に復帰し、つながりをたくさん作っていたきたい」とのあいさつをいただきました。

今年度は、経営や土づくりに関する研修会を新たに計画しており、若手同士で意見交換を行いながら活動を充実させる予定です。新規就農者ももとより、これから就農する方や農業法人に勤められている方でも入会可能です。経営や技術革新にむけた新しい取組みを実践するなど、地域の仲間と交流を図ることができると是非一緒に活動しませんか？ 興味のある方は、伊万里農林事務所西松浦農業改良普及センターまでご連絡ください！



さが園芸888運動  
チャレンジ！達成されるまでが運動！

# さが園芸888運動展開中！

## 「施設キュウリ就農パンフレット」を作成しました！

管内の施設キュウリでは毎年2〜3名が新規就農しており、ここ10年で25名が新しく栽培を始められています。また、規模拡大や雇用型経営をを目指す若手農業者が現れてきており、キュウリ産地としてさらに活気が出てきています。

このような中、新たにキュウリ栽培を希望する農家や規模拡大等を狙う農家に活用してもらうために、「施設キュウリ就農パンフレット」を作成しました。目指す経営にあつた具体的な経営指標や先進農家の紹介等を掲載しており、新たな投資をする前の参考資料として活用できるようになっています。キュウリ栽培に興味のある方は参考にしてみてください。普及センターのホームページにも掲載されています。

管内の施設キュウリでは毎年2〜3名が新規就農しており、ここ10年で25名が新しく栽培を始められています。また、規模拡大や雇用型経営をを目指す若手農業者が現れてきており、キュウリ産地としてさらに活気が出てきています。

### 伊万里・有田でキュウリ栽培始めませんか？

キュウリは1年を通して栽培でき、病気に強い品種も多いため、新慣習でも栽培がしやすい品目です。収量が多いため収穫作業は大変ですが、毎日収入があり、経営的にも安定しています。収穫後はJA伊万里園芸流通センターで集荷され、箱詰め作業まで行われるため、労力が軽減され、生産に専念できます。



伊万里西松浦農業改良委員会

## ウメジョイント大作戦！



JA伊万里うめ部会は、2年連続して販売金額1億円超を達成されています。しかし、ウメでも高齢化や後継者不足が課題であり、省力化や作業の安全性への配慮が必要となつてきています。

そこで、ウメにおいても管内のナシで行われているジョイント仕立てを導入し、省力化を図りながら低樹高で仕立てていくことでウメの振興につなげていくことを目的として、技連果樹部会でジョイント栽培モデル園を設置しました。



モデル園設置の様子

うめ部会員と共に生育を見守っていき、数年後には「ウメの省力化栽培モデル園」として、地域への波及の要となることを期待されます。

## 切口農事組合法人で安全講習会が開催されました

令和3年4月11日に、有田町切口の農業機械倉庫前で、安全講習会が開催されました。切口農事組合法人では、新たな担い手が増えたことを契機に、共同で使用する機械のメンテナンス方法や集落内の危険な場所の再確認を行いました。まず、池田理事から、近隣で起きた事故の事例

紹介をされ、普及センターから県内の事故の発生状況と安全に作業するためのポイントを説明しました。また、JA農機センターの太久保氏から、実際にトラクターを使って注油する部分や、機械トラブルにつながるりやすい場所の清掃方法などを紹介されました。

集落では、作業上危険な場所について話し合ってもらい、「ここは入り口が崩れている」「危険箇所ばっかはい

い」など意見を出しながら、地図に記入し情報を共有しました。切口農事組合法人では、農作業安全講習会を通じて、構成員の作業リスク低減と新たな担い手の早期育成に取り組みれています。



地図を用いて危険箇所の確認

## 獣害対策

「防護柵設置後の点検・補修で侵入防止強化を図り、ヤブ地の解消で潜み場をなくしましょう！」

管内においてもイノシシ等の被害が多く、対策としてワイヤーメッシュ柵や電気柵が設置されていますが、被害は依然として多い状況です。

侵入防止のために防護柵を設置しても、その後の点検・補修を継続して実施しない場合、いつかはイノシシに侵入されてしまいます。また、防護柵の内側にヤブ地があると、侵入してきたイノシシ等の潜み場となってしまう

です。集落で防護柵の点検や潜み場になっている場所を確認するなど、被害軽減に向け取り組んでいきましょう。



潜み場となっているヤブ地を解消(伊万里市二里町中田集落)

佐賀県農業大学校

オープンキャンパスに

参加しませんか!!

○オープンキャンパス開催日

第一回 7月4日(日) (申込期限: 6月24日(木))

第二回 7月28日(水) (申込期限: 7月16日(金))

第三回 8月22日(日) (申込期限: 8月12日(木))

令和4年度学生募集

入試区分	願書受付期間	試験日	合格発表日
推薦入試	令和3年 9月6日(月)~ 9月21日(火)	令和3年 10月8日(金)	令和3年 10月25日(月)
一般入試 一次	令和3年 11月8日(月)~ 11月24日(水)	令和3年 12月10日(金)	令和4年 1月7日(金)
一般入試 二次	令和4年 1月11日(火)~ 2月2日(水)	令和4年 2月18日(金)	令和4年 3月8日(火)

オープンキャンパス  
各施設・専攻別入場料

全席	5.50~9.210
前席	11.80~11.240
後席	1.10~2.20

10.80 12.10 2.18

佐賀県農業大学校

問い合わせ: 農業大学校養成部  
0952-45-2144

令和3年度

職員紹介

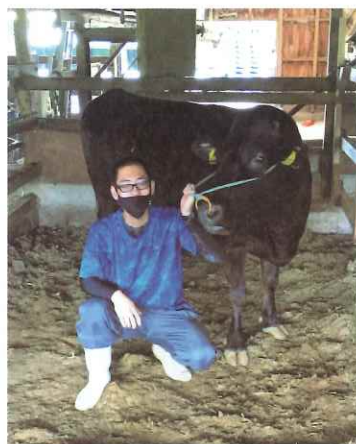
- 前列(右から)
- 西村尚子(経営)
  - 松本和夫(作物)
  - 田中俊朗(センター長)
  - 井上一輝(副センター長)
  - 田崎誠也(野菜・花き)
- 後列(右から)
- 前山美和(果樹)
  - 溝上美沙(経営)
  - 徳久未(野菜・花き)
  - 山本朝美(畜産)
  - 坂本紀子(作物)
  - 野口真弓(果樹)
  - 岡田眞尚(畜産)
  - 田中理沙(野菜・花き)
  - 下古場稜(野菜・花き)
- ※東松浦農業改良普及センターと兼務



西松浦普及

検索

肥育牛、繁殖牛経営を始めて1年になります。現在は、肥育牛8頭、繁殖牛5頭、子牛3頭の管理をしており、育てた子牛が高値で取引されると嬉しいです。また、父が牛の削蹄(爪切り)の仕事もしており、自分も見習いとして伊万里、有田をはじめ、唐津や多久の肉用牛農家を回っています。今後の目標は、人工授精師や削蹄師の資格を取得し、自分の牛を飼うことです。現在、畜産農家の高齢化や、後継者不足などから畜産農家の数が少なくなっています。生き物が相手のので別れが辛いこともあります。それ以上に自分で「育てる楽しさ」がある職業だと思つので、若い人も畜産業に興味を持って就農してくれると嬉しいです。これからも目標達成に向けて頑張りたいと思います。



田中康太郎氏(南波多)

アイドリール

Vol. 5